

事業所名

にゅーとらる西大井

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

12 月

1 目

法人（事業所）理念		子ども一人一人の人権を尊重し、障害の特性に応じた支援／子供や保護者にとって安心して過ごせる場所を提供する										
支援方針		1. 包括的なサポート：こどもと保護者のニーズに応じた多様な支援を提供し、個別の状況に対応します 2. コミュニティの構築：保護者同士や地域とのつながりを強化し、支えあえるコミュニティを形成します 3. 安全・安心の確保：すべての利用者が安心して過ごせる環境を整え、心身の安全を最優先に考えます 4. 参加の促進：こどもが積極的に活動に参加出来る機会を提供し、自発的な成長を促します										
営業時間		10	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	食事・排泄・着脱など基本的な生活技能の習得に向け活動や遊びを通したスモールステップでの支援 れんらくノート等を活用し利用児の健康状態の把握、来所時及び活動中の心身の状況の観察 ・ 日常動作訓練 トイレトレーニング（排泄）、ごっこ遊び、食事、移動、着替え、お金の概念、公共交通機関利用体験										
	運動・感覚	身体を動かすことの楽しさを感じることで心身の健康につなげる。また日常動作の基本的技能獲得支援 様々な運動を行うことで感覚を刺激しボディイメージを育てる 一人一人の感覚特性を踏まえた環境調整や対処法も含めた自己理解の促進支援 ・ サーキット、バランスボール、トランポリン、飛び石、体操、室内運動、公園（アスレチック）										
	認知・行動	利用児ごとの認知処理特性を踏まえた環境や活動の調整 不適切行動を予防するための環境調整と代替手段獲得のための支援 ・ 絵カード、ルールのある遊び、数や文字の模倣、ごっこ遊び										
	言語 コミュニケーション	製作活動や数人でおこなうゲームなど、様々な活動や遊びを通してコミュニケーションスキルの獲得・向上のための支援 ジェスチャーや絵カード、手話、アプリなども活用し言語理解・表出のための支援 一人一人の発達段階や障害特性に合わせた読み書き支援 ・ 絵カード、交互に行う遊び、ごっこ遊び、音韻、プリント学習、										
	人間関係 社会性	利用児の興味関心や遊びの発達段階に合わせた活動を設定することで自己肯定感を育み、それらを通じた社会性の促進支援 利用児の発達段階・発達課題に合わせた自己理解促進のための支援 ・ 清掃活動、ごっこ遊び、小集団での活動、協調運動										
家族支援		ご家族からの相談に応じて関係各所につなぐ 個別の相談支援の実施					移行支援		園・学校等へ児童の発達や特性に関する情報提供 関係機関連絡票の作成及び進級・進学先への情報提供や相談援助 他の児童発達支援や放課後等デイサービスとの連携			
地域支援・地域連携		園・学校等との情報交換や相談援助、地域の福祉施設・医療機関等との連携など ・ 清掃活動（地域のゴミ拾い）					職員の質の向上		年間研修計画に沿った研修の実施 配属時の初任者研修および職能別の研修などキャリアアップ制度の整備 スタッフ間のコミュニケーションを図り、支援に関わる知識技能の共有の場を設ける 研修費や資格取得のための費用補助			
主な行事等		季節ごとのプログラム活動（例：正月遊びや飾り作り、節分、バレンタイン製作、夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど）										